

令和5年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書  
(令和4年度対象)

令和5年11月  
人吉市教育委員会

# 目 次

<はじめに>	1
人吉市教育委員会の構成（令和5年9月1日現在）	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	
（1）教育委員会の概要	2
○教育委員会の目的	2
○人吉市教育委員会委員（令和4年度）	2
（2）教育委員会の主な活動内容	2
○教育委員会の活動状況	2
○教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（令和4年度実績）	
② 審議状況	
（ア）付議案件数	
（イ）会議に付された主な案件	
○総合教育会議	3
① 会議の開催状況（令和4年度実績）	
② 協議状況	
③ 会議に付された主な案件	
○教育長及び教育委員の活動	3
① 所管施設訪問状況	
（ア）学校訪問	
（イ）他の主な会議・行事等	
2 点検及び評価の目的	12
3 学識経験者の知見の活用	12
○学識経験者	
4 点検及び評価の対象	12
○人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	
5 点検及び評価の結果	13
（1）総合評価基準	13
（2）点検評価シート（7事業）	
人吉市奨学金事業（貸与型・給付型）	14
特別支援教育支援員配置事業	16
学校給食事業	18
校区公民館事業	20
スポーツコーディネーター業務委託（人吉市小学校社会体育）	22
史跡大村横穴群保存修理事業（補助）	24
人吉市童話発表大会	26
《基本理念》 《教育目標》	28

## <はじめに>

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、令和4年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

人吉市教育委員会

## 人吉市教育委員会の構成

(令和5年9月1日現在)

教育長	志波 典明
委員 (教育長職務代理者)	大園 恭幸
委員	永田 ミキ
委員	加賀 邦保
委員	岡本 麻美

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 1 教育委員会の活動及び運営状況

## (1) 教育委員会の概要

〔教育委員会の目的〕

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないと なっています。

本市においては、人吉市総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努めています。

〔人吉市教育委員会委員〕

(令和4年度)

役職名	氏名	就任	任期満了
教育長 (新制度教育長)	志波 典明	令和3年7月1日	令和6年6月30日
委員 (職務代理者)	大園 恭幸	令和4年4月10日	令和8年4月9日
委員	永田 ミキ	平成28年10月1日 令和3年1月1日再任	令和6年12月31日
委員	加賀 邦保	令和元年10月1日 令和3年7月1日再任	令和7年6月30日
委員	岡本 麻美	令和3年10月1日	令和7年9月30日

## (2) 教育委員会の主な活動内容

〔教育委員会の活動状況〕

教育委員会の活動としては、教育長、教育委員4名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校参観を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度も時間を短縮して行う形となりましたが、引き続き教育現場の声を活かした教育行政を推進していきます。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を13回開催し、審議事項53件、承認・協議事項等18件について審議等を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定しました。

今後も「広報ひとよし」や市ホームページを利用し、定例の教育委員会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指していきます。

〔教育委員会会議〕

① 会議の開催状況（令和4年度実績）

会 議	開催数	傍聴者数
定例会	12 回	1 名
臨時会	1 回	0 名

② 審議状況

（ア）付議案件数

審議事項	54 件
承認・協議事項等	18 件

（イ）会議に付された主な案件

- ・ 人事案件について
- ・ 規則・要項の制定及び改正について
- ・ 一般会計予算について
- ・ 人吉市学校運営協議会委員等の任命について
- ・ 教育委員会の点検及び評価について

〔総合教育会議〕

① 会議の開催状況（令和4年度実績）

会 議	開催数	開催月
総合教育会議	1 回	2 月

② 協議状況

協議事項	教育長及び教育委員出席状況
1 件	5 名

③ 会議に付された案件

- ・ 中学校部活動の地域移行について

〔教育長及び教育委員の活動〕

① 所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育長及び教育委員出席状況
小学校訪問	6校	令和4年7月～ 令和4年11月	延べ 30人
中学校訪問	3校		延べ 15人

## (イ) 他の主な会議・行事等

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
1	臨時的任用教職員辞令伝達式	令和4年4月1日 (金)	1名
2	球磨管内教職員辞令交付式	令和4年4月1日 (金)	1名
3	教職員人事異動に伴う辞令伝達式	令和4年4月1日 (金)	5名
4	新規採用教職員宣誓式	令和4年4月4日 (月)	1名
5	大招魂祭奉納少年剣道大会	令和4年4月5日 (火)	1名
6	学校保健推進合同会議	令和4年4月6日 (水)	1名
7	入学式 (小・中学校)	令和4年4月11日 (月)	5名
8	市内校長会議	令和4年4月18日 (月)	1名
9	人吉球磨人権教育研究協議会第1回代表者会議	令和4年4月19日 (火)	1名
10	人吉市スポーツ推進委員協議会総会	令和4年4月19日 (火)	1名
11	定例教育長・校長合同会議	令和4年4月20日 (水)	1名
12	熊本県教育研究所連絡協議会総会	令和4年4月22日 (金)	1名
13	市内教頭・主幹教諭会議	令和4年4月25日 (月)	1名
14	中原校区公民館運営委員会	令和4年4月26日 (火)	1名
15	熊本縣市町村教育委員会連絡協議会定例会	令和4年5月9日 (月)	1名
16	人吉市立教育研究所総会	令和4年5月10日 (火)	1名
17	教育事務所との連絡会	令和4年5月11日 (水)	1名
18	全国都市教育長協議会定期総会	令和4年5月12日 (木)	1名
19	小・中学校体育祭 (第一中・第二中・第三中・大畑小)	令和4年5月15日 (日)	1名
20	熊本県租税教育推進協議会	令和4年5月17日 (火)	1名
21	カルヴァーリョ・ラッソ人吉 総会	令和4年5月17日 (火)	1名
22	防災会議、水防協議会、災害対策本部会議	令和4年5月20日 (金)	5名
23	町内会長連合会総会	令和4年5月20日 (金)	5名
24	小学校運動会 (東間小・西瀬小)	令和4年5月22日 (日)	1名
25	市内校長会議	令和4年5月24日 (火)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
26	人吉球磨人権教育研究協議会第2回代表者会議	令和4年5月24日 (火)	1名
27	老人クラブ連合総会	令和4年5月25日 (水)	1名
28	教育長会議	令和4年5月26日 (木)	1名
29	人吉文化協会定例理事会	令和4年5月27日 (金)	1名
30	人吉市人権教育推進連絡協議会総会	令和4年5月26日 (木)	1名
31	陸上記録会	令和4年5月29日 (日)	1名
32	幼・保等小・中連携会議	令和4年5月30日 (月)	1名
33	球磨教育事務所長講話	令和4年5月30日 (月)	4名
34	租税教育実践校委嘱状交付式	令和4年6月1日 (水)	1名
35	第1回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和4年6月2日 (木)	1名
36	租税教育実践校感謝状贈呈式	令和4年6月3日 (金)	1名
37	人吉球磨地域特別支援連携協議会	令和4年6月6日 (月)	1名
38	人吉市教育支援委員会・特別支援連携協議会総会	令和4年6月7日 (火)	1名
39	奨学金寄附金贈呈式	令和4年6月9日 (木)	1名
40	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 人吉城跡部会	令和4年6月9日 (木)	1名
41	人吉市国際交流協会総会	令和4年6月10日 (金)	1名
42	県中学生剣道優勝大会	令和4年6月12日 (日)	1名
43	第19回熊本県中学生剣道優勝大会	令和4年6月12日 (日)	1名
44	大畑小・第三中 学校学校運営協議会	令和4年6月13日 (月)	1名
45	市内教務主任会議	令和4年6月17日 (金)	1名
46	九州地区教育研究所連盟臨時総会(オンライン)	令和4年6月17日 (金)	1名
47	人吉球磨中体連夏季陸上大会	令和4年6月18日 (土)	1名
48	人吉市中学校三校合同研修会	令和4年6月20日 (月)	1名
49	第一中 学校運営協議会	令和4年6月22日 (水)	1名
50	水生生物調査	令和4年6月24日 (金)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
51	通学路安全推進会議	令和4年6月24日 (金)	1名
52	中体連大会	令和4年6月25日 (土) ・26日 (日)	1名
53	中原小 学校運営協議会	令和4年6月29日 (水)	1名
54	第1回人吉市社会教育委員会 (公民館運営審議会)	令和4年6月29日 (水)	1名
55	令和2年7月豪雨犠牲者追悼式	令和4年7月3日 (日)	1名
56	第13回ペタンク大会	令和4年7月3日 (日)	1名
57	定例教育長会議	令和4年7月5日 (火)	1名
58	経営訪問 (西瀬小)	令和4年7月6日 (水)	5名
59	教育事務所との連絡会	令和4年7月7日 (木)	1名
60	第1回人吉市地域学校協働本部会議	令和4年7月8日 (金)	1名
61	経営訪問 (第三中)	令和4年7月11日 (月)	5名
62	市内校長会議	令和4年7月12日 (火)	1名
63	人吉市学校安全衛生委員会	令和4年7月12日 (火)	1名
64	第1回人吉市学校給食食物アレルギー対応委員会	令和4年7月13日 (水)	1名
65	経営訪問 (大畑小)	令和4年7月14日 (木)	5名
66	第二中 学校運営協議会	令和4年7月14日 (木)	1名
67	第1回人吉市学校給食センター運営委員会総会	令和4年7月19日 (火)	1名
68	犬童球溪顕彰音楽祭協議会 (第1回)	令和4年7月22日 (金)	1名
69	人吉球磨人権教育研究協議会全体会	令和4年7月28日 (木)	1名
70	人吉市 (中学生) 子ども議会事前学習会	令和4年7月29日 (金)	1名
71	人吉市民生委員推薦会	令和4年7月29日 (金)	1名
72	令和4年度ひとよし温泉マラソン役員会議	令和4年8月2日 (火)	1名
73	いじめ問題対策連絡協議会	令和4年8月3日 (水)	1名
74	県学校給食研究協議大会 (オンライン)	令和4年8月3日 (水)	1名
75	市長との座談会	令和4年8月4日 (木)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
76	人吉市学校安全衛生委員会研修会	令和4年8月5日 (金)	1名
77	初任者（教員）研修	令和4年8月8日 (月)	1名
78	犬童球溪頭彰音楽祭「学校発表会」実施協議	令和4年8月22日 (月)	1名
79	令和4年度ひとよし温泉マラソン第1回実行委員会	令和4年8月23日 (火)	1名
80	人吉市犯罪を許さないまちづくり推進協議会	令和4年8月26日 (金)	1名
81	第77回熊本県民体育祭人吉市選手団結団式	令和4年8月26日 (金)	1名
82	人吉市文化財保護委員会（第1回）	令和4年8月29日 (月)	1名
83	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 人吉城跡部会	令和4年8月29日 (月)	1名
84	教育長会議	令和4年8月30日 (火)	1名
85	総合訪問（中原小）	令和4年8月31日 (水)	5名
86	市内校長会議	令和4年9月1日 (木)	1名
87	教育委員会の点検及び評価に関する外部委員会	令和4年9月1日 (木)	1名
88	人吉市教育支援委員会	令和4年9月6日 (火)	1名
89	人吉球磨総合美展テープカット	令和4年9月8日 (木)	1名
90	人吉市童話発表大会（第2回）	令和4年9月11日 (日)	4名
91	「小林製菓 小学校に様式トイレプレゼント」 トイレ贈呈式（東間小）	令和4年9月28日 (水)	1名
92	第35回熊本縣市町村教育長研修大会（オンライン）	令和4年9月29日 (木)	1名
93	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 大村横穴群部会	令和4年9月30日 (金)	1名
94	小学校運動会（人吉東小・人吉西小・中原小）	令和4年10月2日 (日)	1名
95	総合訪問（第二中）	令和4年10月4日 (火)	1名
96	市内校長会議	令和4年10月5日 (水)	1名
97	球磨教育事務所との連絡会	令和4年10月7日 (金)	1名
98	就学時健診（東間小）	令和4年10月11日 (火)	1名
99	人吉市小学校社会体育運営委員会	令和4年10月11日 (火)	1名
100	定例教育長会議・教育推進会議	令和4年10月12日 (水)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
101	球磨人吉中体連駅伝大会	令和4年10月13日 (木)	1名
102	人吉市(中学生)子ども議会リハーサル	令和4年10月14日 (金)	1名
103	わくわく授業(東間小)	令和4年10月18日 (火)	1名
104	人吉市(中学生)子ども議会	令和4年10月20日 (木)	1名
105	経営訪問(第一中)	令和4年10月21日 (金)	1名
106	わくわく授業(第三中)	令和4年10月21日 (金)	1名
107	県人教教育研究協議会(山鹿大会)	令和4年10月22日(土) ・23日(日)	1名
108	就学時健診(中原小)	令和4年10月24日(月)	1名
109	就学前交流事業	令和4年10月25日(火)	1名
110	人吉球磨人権教育研究協議会第3回代表者会議	令和4年10月28日(金)	1名
111	市町村教育委員会研究協議会(~11/1)	令和4年10月31日(月)	3名
112	総合訪問(人吉西小)	令和4年11月2日(水)	5名
113	学校給食調理業務委託業者選定委員会	令和4年11月2日(水)	1名
114	東間校区公民館講座閉講式(三味線)	令和4年11月2日(水)	1名
115	東間校区公民館講座閉講式(写真)	令和4年11月3日(木)	1名
116	東間校区公民館講座閉講式(フラダンス)	令和4年11月3日(木)	1名
117	東間校区公民館講座閉講式(ハワイアンウクレレ)	令和4年11月5日(土)	1名
118	人吉文化祭テープカット	令和4年11月5日(土)	1名
119	第2回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和4年11月7日(月)	1名
120	九州地区教育研究所連盟研究発表大会	令和4年11月17日(土) ・18日(日)	1名
121	教育長・校長合同会議	令和4年11月8日(火)	1名
122	市内教頭・主幹教諭会議	令和4年11月9日(水)	1名
123	東間校区公民館講座閉講式(太極功夫扇)	令和4年11月10日(木)	1名
124	犬童球溪頭彰音楽祭「碑前祭」	令和4年11月10日(木)	5名
125	県中体連駅伝大会	令和4年11月11日(金)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
126	第7回人吉市市民プール検討委員会	令和4年11月14日 (月)	1名
127	就学時健診 (人吉西小)	令和4年11月15日 (火)	1名
128	経営訪問 (人吉東小)	令和4年11月16日 (水)	5名
129	二中校区3校合同研修	令和4年11月16日 (水)	1名
130	人吉市民生委員推薦会	令和4年11月21日 (月)	1名
131	就学時健康診断 (西瀬小)	令和4年11月22日 (火)	1名
132	初任者授業参観 (大畑小)	令和4年11月25日 (金)	1名
133	東間校区公民館講座閉講式 (健康ダンス)	令和4年11月25日 (金)	1名
134	人吉市地域学校協働本部事業「学校ボランティアの集い」	令和4年11月26日 (土)	1名
135	東間校区公民館講座閉講式 (子どもよさこい)	令和4年11月26日 (土)	1名
136	第14回ペタンク大会	令和4年11月26日 (土)	1名
137	経営訪問 (東間小)	令和4年11月28日 (月)	1名
138	第2回人吉市社会教育委員会 (公民館運営審議会)	令和4年11月28日 (月)	1名
139	東間校区公民館講座閉講式 (ストレッチヨガ)	令和4年11月28日 (月)	1名
140	就学時健診 (人吉東小)	令和4年11月29日 (火)	1名
141	市内校長会議	令和4年11月30日 (水)	1名
142	給食費滞納対策専門部会	令和4年12月1日 (木)	1名
143	人吉市奨学生選考委員会	令和4年12月11日 (日)	1名
144	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」 (相良南小)	令和4年12月12日 (月)	1名
145	人吉市学校安全衛生委員会	令和4年12月13日 (火)	1名
146	第70回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会人吉市選手団結団式	令和4年12月13日 (火)	1名
147	人吉市教育支援委員会	令和4年12月15日 (木)	1名
148	第70回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	令和4年12月18日 (日)	1名
149	市内校長会議	令和4年12月19日 (月)	1名
150	人吉市市民プール検討委員会答申	令和4年12月19日 (月)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
151	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」(五木中)	令和4年12月21日 (水)	1名
152	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」(第二中)	令和4年12月23日 (金)	1名
153	人球地区高等学校実践発表会	令和4年12月23日 (金)	1名
154	人吉市成人式	令和5年1月3日 (火)	5名
155	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」(湯山小)	令和5年1月12日 (木)	1名
156	定例教育長会議	令和5年1月13日 (金)	1名
157	人吉市体育施設事故防止対策審議会	令和5年1月13日 (金)	1名
158	人吉球磨読書感想画コンクール表彰式(第38回)	令和5年1月14日 (土)	1名
159	市内校長会議	令和5年1月17日 (火)	1名
160	学校給食調理業務委託業者選定委員会	令和5年1月17日 (火)	1名
161	東間校区民体育祭(グラウンドゴルフ)	令和5年1月22日 (日)	1名
162	いじめ問題対策連絡協議会	令和5年1月26日 (木)	1名
163	九州都市教育長協議会第2回理事会意見交換会	令和5年1月26日 (木)	1名
164	学校給食調理業務委託業者選定委員会	令和5年1月30日 (月)	1名
165	熊本の学び合同研修会	令和5年2月3日 (金)	1名
166	犬童球溪頭彰音楽祭協議会(第2回)	令和5年2月6日 (月)	2名
167	市内校長会議	令和5年2月7日 (火)	1名
168	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 大村横穴群部会	令和5年2月9日 (木)	1名
169	人吉市教育総合会議	令和5年2月10日 (金)	1名
170	教育推進会議	令和5年2月10日 (金)	1名
171	特別支援連携協議会	令和5年2月13日 (月)	1名
172	東間校区市政懇談会	令和5年2月13日 (月)	1名
173	定例教育長・校長合同会議	令和5年2月14日 (火)	1名
174	第3回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和5年2月14日 (火)	1名
175	市内教頭・主幹教諭会議	令和5年2月15日 (水)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員出 席状況
176	人吉市・人吉市歯科医師会連絡協議会	令和5年2月15日 (水)	1名
177	東校区市政懇談会	令和5年2月16日 (木)	1名
178	第2回人吉市学校給食センター運営委員会総会	令和5年2月17日 (金)	1名
179	西瀬橋完成式典	令和5年2月19日 (日)	1名
180	西瀬校区市政懇談会	令和5年2月20日 (月)	1名
181	第2回人吉市地域学校協働本部会議	令和5年2月22日 (水)	1名
182	人吉球磨学校教育振興協議会	令和5年2月24日 (金)	1名
183	第3回人吉市社会教育委員会(公民館運営審議会)	令和5年2月27日 (月)	1名
184	「熊本の学び」三校合同研修	令和5年2月28日 (火)	1名
185	市内校長会議	令和5年3月2日 (木)	1名
186	中学校卒業式	令和5年3月5日 (日)	3名
187	交通安全マップ寄贈式	令和5年3月15日 (水)	1名
188	人吉市小学校社会体育運営委員会 総会	令和5年3月17日 (金)	1名
189	こども図書館オープンセレモニー	令和5年3月18日 (土)	4名
190	小学校卒業式	令和5年3月23日 (木)	4名
191	学校いじめ調査委員会	令和5年3月23日 (木)	1名
192	人吉球磨結核対策委員会審査会	令和5年3月23日 (木)	1名
193	教科用図書採択協議会	令和5年3月24日 (金)	1名
194	東西コミュニティセンター災害復旧工事竣工式	令和5年3月26日 (日)	3名
195	人吉市学校給食センター納入業者指定書交付式	令和5年3月27日 (月)	1名
196	人吉市奨学生決定通知者交付式	令和5年3月28日 (火)	1名
197	人吉市人権教育推進連絡協議会第3回運営委員会	令和5年3月29日 (水)	1名
198	退職者辞令交付式	令和5年3月31日 (金)	1名

## 2 点検及び評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検及び評価」が位置付けられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々な御意見、御助言をいただきました。

[学識経験者]

あだち きみこ 安達 貴美子 氏	元小学校校長
まるもと ゆかり 丸本 縁 氏	元市役所職員
くまべ けいじ 隈部 圭二 氏	市PTA連絡協議会推薦

## 4 点検及び評価の対象

令和4年度中に人吉市教育振興基本計画に基づき実施した7事業について、点検及び評価を行いました。

[人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業]

課名	点検及び評価を行う事業
学校教育課	人吉市奨学金事業（貸与型・給付型）
	特別支援教育支援員配置事業
	学校給食事業
社会教育課	校区公民館事業
	スポーツコーディネーター業務委託 (人吉市小学校社会体育)
文化課	史跡大村横穴群保存修理事業（補助）
	人吉市童話発表大会

## 5 点検及び評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価をA～Dで表し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

### (1) 総合評価基準

区分	評価結果に基づく改善等の内容	内容の詳細
A	継続して管理・運営を進めることが適当	特に問題もなく進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。
B	事業の進め方を改善検討し、事業は継続	進捗状況は順調であり、事業内容にも意義があるため継続が望ましいと判断できるが、事業の進め方等に改善の余地があるもの。
C	事業規模・内容、または実施主体の見直しを検討	進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。
D	事業の抜本の見直し、休・廃止の検討	進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。

### (2) 点検評価シート（7事業）

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和4年度事業)

事業名・担当部署					
1	事業名	人吉市奨学金事業（貸与型・給付型）			
2	担当課名	学校教育課	担当者	丸尾亜紀子	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	実施
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり	
			9	学校教育の充実	

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	経済的理由により修学困難な者 ・高等学校、高等専門学校又は専修学校(高等課程)に在学する者(貸与型)又は進学する者(給付型) ・専修学校(専門課程)又は大学に在学する者(貸与型)又は進学する者(給付型)			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	向学心に富み、能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な者に対して学費(以下「奨学金」)を貸与又は給付し、その能力に応じた教育を受ける機会を与え、もって有用な人材を育成することを目的とする。			
6	事業の概要	市の奨学金制度は、高校生を対象とした返還を必要とする「貸与型奨学金制度」を昭和34年度に施行したことに始まる。平成5年度から対象者を大学生までに拡大し、令和4年度末までに計154名の学生に奨学金を貸与してきた。 また、令和3年度に入学時祝金として支給する「給付型奨学金制度」を新設し、初年度は高校生(5万円)6名、大学及び専門学校生(20万円)2名の計8名に支給した。 奨学生選考については、4名の選考委員による選考委員会を開催し、書類及び面接により厳正に選考した結果を教育委員会会議で審議し承認している。			
7	コスト 財源内訳	年度	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)
		合計	19千円	19千円	36千円
		① 国庫補助金			
		② 県補助金			
		③ 起債			
		④ その他			
⑤ 一般財源	19	19	36		

事業の成果と課題																				
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	○貸与月額 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td></td> <td>国公立</td> <td>私立</td> </tr> <tr> <td>大学生・専門学校生</td> <td>3万円</td> <td>4万円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1万円</td> <td>2万円</td> </tr> </table>			国公立	私立	大学生・専門学校生	3万円	4万円	高校生	1万円	2万円	○給付額 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td></td> <td>給付額</td> </tr> <tr> <td>大学生・専門学校生</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>5万円</td> </tr> </table>			給付額	大学生・専門学校生	20万円	高校生	5万円
			国公立	私立																
大学生・専門学校生	3万円	4万円																		
高校生	1万円	2万円																		
	給付額																			
大学生・専門学校生	20万円																			
高校生	5万円																			
		○令和4年度に奨学生として採用した学生(令和5年度入学後に貸与及び給付) 貸与型：高校生4名 給付型：高校生6名、大学生1名  貸与型奨学生については、平成31年度採用の大学生1名以降、応募がなかったが、令和4年度は高校生4名の応募があり、全て採用となった。令和2年7月豪雨災害や新型コロナ禍での生活苦が応募理由である学生もおり、困難な状況にありながらも向学心のある学生の修学を支援できたと考える。 また、給付型奨学生については、大学生1名、高校生6名の応募があり、全て採用となった。 なお、奨学生決定通知書交付式を行い、奨学金基金の意義や寄附者の思いを伝えることができたことは、持続可能な奨学金制度の運営に大いに意義があった。																		
9	今後の課題や改善等	貸与型奨学金については、返還に遅れがみられる者への納付指導を強化した結果、大幅に滞納額が減少した。新たに納付の確約がとれた方もあり、今後も声掛け等を続け滞納額減少及び納付遅延解消に努める。 給付型奨学金については、現在、入学祝金として入学時に1回だけ支給する制度となっているが、修学支援の観点からも拡充を含めた制度の見直しも必要であると考えられる。 また、貸与型及び給付型共に制度周知に力を入れ応募者増加を目指す。																		

事業の評価と今後の事業計画

10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	<p>全国的に奨学金の返還による生活苦が取り上げられているが、その一因は利子にあると言われる。本市の貸与型奨学金は無利子であるので、制度を積極的に周知して、不利な借り入れを減らせるよう働きかけることも必要である。また、奨学金制度は学生の学びを支える不可欠な制度であるため、今後も返還金の滞納解消に向けて納付勧奨を継続していく。</p> <p>なお、給付型奨学金制度の見直しについて検討する必要がある。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○全国的に物価高騰の状況が続く中、向上心のある若者への支援を行う本事業は、意義のあるものとする。</p> <p>○貸与型奨学金について、返還の納付指導の強化により滞納額が減少したことを評価する。</p> <p>○給付型奨学金について、奨学生決定通知書交付式により、寄付者の思いを伝えるなど、奨学生に事業の趣旨を理解してもらう場を設けたことを評価する。</p> <p>○貸与型、給付型とも制度周知に努められるとともに、持続可能な運営を行われることを期待する。</p> <p>○子供たちの展望が明るくなる貴重な事業であるので、必要な生徒が確実に受け取れるよう周知してほしい。</p> <p>○貸与型の奨学金の金額の設定が難しいと思うが、金額を選べると個々の実情に合った奨学金が受け取れると考える。</p> <p>○担当者と奨学生が綿密な面談をとおして、返還する際に無理が生じないよう工夫してほしい。</p> <p>○給付型を受ける奨学生数が増えるよう周知をお願いしたい。</p> <p>○様々な形態で手を差し伸べているこの国の社会構造と善意に感謝する。しかし、学生には、このシステムが理解しにくいと思うので、制度の説明も重要と考える。</p> <p>○学生には理解しにくい事、例えば、メリットだけではない事、権利ではあるが義務も発生する事、支えられる覚悟なども教えてよいと思う。</p>
----	--

教育委員会の評価

12	総合評価	
	B	<p>この事業は、生活全般が年々厳しさを増している現状や将来の日本を支える人材育成のためにも、意義のある事業として今後も継続していく必要がある。</p> <p>現在行っている「奨学生決定通知書交付式」は、返還の義務が生じる事や寄付者の思いなど、制度の趣旨を伝えることができる効果的な場であるので、今後も継続して行っていく。</p> <p>持続可能な制度運営のためには、滞納額減少及び納付遅延解消に向けた納付勧奨に努めるとともに、制度周知の強化、さらには寄付者確保への働きかけなどの手立てが必要である。</p> <p>以上のことから、更なる充実を目指す必要があることから「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和4年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	特別支援教育支援員配置事業					
2	担当課名	学校教育課		担当者	山本 研央		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小・中学校に在籍する児童生徒				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	通常学級に在籍している特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活・学習の両面において個に応じた細やかな指導や適切な支援を実現し、学級全体の安定運営と担任の業務負担軽減を図る。				
6	事業の概要	通常学級には、発達障害等の理由により学校生活や学習面で特別な支援を要する児童生徒が在籍しており、各学校に特別支援教育支援員を配置することによって、担任1名による学級指導体制をフォローし、児童生徒の個に応じた細やかな支援・指導体制を確立させる。				
7	コスト 財源内訳	年度	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
		合計	34,535千円	40,535千円	41,709千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
⑤ 一般財源	34,535	40,535	41,709			

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	令和4年度は、特別な支援を要する児童が在籍する市内小学校全6校と市内中学校2校に、合計18名の特別支援教育支援員を配置し、学校生活・学習両面での細やかな支援体制を確立することができた。また、担任の業務負担軽減と学級経営の安定化、職場環境の改善が図られ、より充実した支援体制を確保することができた。				
9	今後の課題や改善等	特別な支援を要する児童生徒は増加傾向にあり、各学校からは特別支援教育支援員の増員の要望が多い。一方、求められる支援員の人材確保に大変苦慮している。併せて、人件費の財源確保の問題についても、国や県の動向や補助制度の新設要望を行っていく必要がある。				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>特別支援教育支援員配置事業は、特別な支援を要する子どもたちの個に応じた適切な支援を行う事業として、趣旨・目的ともに必要な事業であり、今後も継続して実施していく必要がある。小学校から中学校への連携および継続した支援の必要性を考慮し、市全体の財政状況を踏まえながら、人件費の財源を確保して、市内小中学校への適正な配置を進めなければならない。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○本事業は、支援が必要な児童生徒への細やかなフォローと、担任の業務負担軽減のために重要な事業であり、支援員増員のための予算を確保していることを評価する。</p> <p>○人材の確保と人件費の財源確保が課題となっており、研究・検討をお願いしたい。</p> <p>○特別支援教育支援員の必要性は年々増している。かなりの財源が必要であるので即増員にはつながらないと思うが、一人でも多くの支援員を配置してほしい。</p> <p>○今年度は、支援員の枠が埋まらないほど人員の不足が問題となっているが、教員の免許の有無がネックとなっている可能性がある。（資格要件の緩和）</p> <p>○小中学校共に、人員の不足に苦慮している状況であるため、一人でも多くの職員を配置してほしい。</p> <p>○この支援は子供達だけでなく、悩みを抱えた保護者にとっても大きな助けとなっており、今後大きく発展してほしい事業であるので、個人的には最優先事項と考える。</p> <p>○要支援とされる子の周りの子供達への影響がとても大きく、差別や人権問題の解消に貢献していると感じる。とても優しく他人に接している子供が増えたと思う。</p> <p>○支援体制の強化、人員育成に問題・課題があるとのことだが、社会全体が抱えている課題でもあり、より良い方向に進むよう切に願う。</p>
----	--

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	<p>支援を必要とする児童生徒が増加傾向にある中、担任の業務負担軽減と学級経営の安定化、職場環境の改善を図ることも喫緊の課題であり、支援員の存在意義は大きくなってきており、今後も継続していく必要がある事業である。</p> <p>「必要な子に必要な支援」を行うために、人材及び財政確保に努め、児童生徒が不利益を被らないよう対処していかなければならない。人材確保のためには、資格要件の緩和や研修（専門的実務、メンタルケアなど）の充実など柔軟的運用を含めた見直しや改善の検討が必要である。また、国や県への働きかけを継続的に行い、財源確保にも努めなければならない。</p> <p>以上のことから、検討課題や改善の余地がある事業であるため「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和4年度事業)

事業名・担当部署					
1	事業名	学校給食事業			
2	担当課名	学校教育課 (学校給食センター)	担当者	上村 洋樹	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策
		2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり	9	学校教育の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小・中学校の児童・生徒及びその保護者			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	給食食材の高騰に伴い、現在の給食費では児童生徒の給食の質を保つことが困難な状況になっている。保護者にさらなる負担を強いることなく、給食の質を保つため、食材費高騰分を助成するもの。			
6	事業の概要	現在の給食費単価は小学校241円/食、中学校282円/食でまかなっているが、近年の物価高騰に伴い、現在の給食単価では児童生徒に必要な栄養や質を保つことができない状況にある。 令和3年度と比較し、令和4年度の食材費は6.4%の増が予測されたため、令和3年度の購入実績の6.4%にあたる794万円を学校給食センター運営委員会に助成する。			
7	コスト 財源内訳	年度	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (見込)
		合計	0千円	7,940千円	12,312千円
		① 国庫補助金		7,940	12,312
		② 県補助金			
		③ 起債			
		④ その他			
⑤ 一般財源	0	0	0		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>本来であれば、給食にかかる食材費は保護者が負担しなければならないが、食材費高騰分について助成することで、保護者に追加の負担を強いることなく、量質ともに安定した給食を提供することができた。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>基準となる給食単価 (小学校241円、中学校282円) に食材費高騰分を追加し給食献立を作成するが、明確な給食単価が設定されていないため、献立作成に苦慮した。 今後においては、食材費高騰分を合算したうえで給食単価を積算し、献立作成がスムーズにできるよう制度設計したい。</p>

事業の評価と今後の事業計画			
10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	<p>世界的な物価高騰は今後も続く見込みであり、令和5年度においても上昇幅はさらに大きくなる可能性がある。</p> <p>現時点で国の交付金交付が見込まれることから、令和5年度においても食材費高騰分の助成を実施し、保護者の追加負担なく安定して安全でおいしい給食を提供したい。</p>

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物価高騰が続く中、保護者のへの追加負担を強わずに給食の質を維持するためにも、国からの交付金が続く限り本事業を進めてほしい。</li> <li>○物価高騰の折、給食費の助成は保護者にとって大変ありがたいことである。また、献立を立てる栄養教諭にとっても見通しが持てるようになり、その結果、児童の栄養面の確保やおいしい給食の実現につながっていると思う。ぜひ、今後も物価高騰が続く間は、継続してほしい。</li> <li>○滞納、食材費、電気・ガス・水道、人件費等すべてのコストが増える中での皆様の御苦労に心より感謝している。</li> <li>○子供たちに必要な栄養と楽しい食事のひとつをこれからも守って欲しいと切に願う。</li> <li>○適宜行っていただいている設備の改修についても、今後も安全・安心な給食提供のために今後も計画的に行っていただきたい。</li> </ul>

教育委員会の評価					
12	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">総合評価</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td> <p>国からの交付金により保護者に経済的負担を強いることなく、児童生徒に必要な栄養や質量ともに安定した給食を提供することができた事業である。物価高騰は今後も続く見込であるため、国からの交付金が続く限り、有効に活用していきたい。</p> <p>その一方で、負担が少なくても、安定して安全で美味しい給食を提供できている今だからこそ、世界情勢や日本の食糧事情及び食の大切さの教授など、改めて給食を教育の一環として捉える必要があると考える。</p> <p>今後、公会計化に取り組む予定であるが、物価高騰を見据えた単価設定の検討、公会計化導入に向けての保護者への十分な主旨説明、そして給食費滞納解消に向けた対策など課題もある。</p> <p>以上のことから、検討や改善課題もあることから「B」を選択した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	総合評価		B	<p>国からの交付金により保護者に経済的負担を強いることなく、児童生徒に必要な栄養や質量ともに安定した給食を提供することができた事業である。物価高騰は今後も続く見込であるため、国からの交付金が続く限り、有効に活用していきたい。</p> <p>その一方で、負担が少なくても、安定して安全で美味しい給食を提供できている今だからこそ、世界情勢や日本の食糧事情及び食の大切さの教授など、改めて給食を教育の一環として捉える必要があると考える。</p> <p>今後、公会計化に取り組む予定であるが、物価高騰を見据えた単価設定の検討、公会計化導入に向けての保護者への十分な主旨説明、そして給食費滞納解消に向けた対策など課題もある。</p> <p>以上のことから、検討や改善課題もあることから「B」を選択した。</p>
総合評価					
B	<p>国からの交付金により保護者に経済的負担を強いることなく、児童生徒に必要な栄養や質量ともに安定した給食を提供することができた事業である。物価高騰は今後も続く見込であるため、国からの交付金が続く限り、有効に活用していきたい。</p> <p>その一方で、負担が少なくても、安定して安全で美味しい給食を提供できている今だからこそ、世界情勢や日本の食糧事情及び食の大切さの教授など、改めて給食を教育の一環として捉える必要があると考える。</p> <p>今後、公会計化に取り組む予定であるが、物価高騰を見据えた単価設定の検討、公会計化導入に向けての保護者への十分な主旨説明、そして給食費滞納解消に向けた対策など課題もある。</p> <p>以上のことから、検討や改善課題もあることから「B」を選択した。</p>				

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和4年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	校区公民館事業					
2	担当課名	社会教育課		担当者	上野 政信		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市民（就学前「年少」～小学生～中学生～成人）				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	「誰もが、いつでも、どこでも」生涯にわたって学び続けることのできる生涯学習社会の実現に向けて、市民への総合的な学びの機会や情報を提供し、その学びを通して人材育成及び地域コミュニティの形成を図るとともに、その人材が地域で生かされる支援体制の構築を目指すもの。				
6	事業の概要	本事業は、市内6校区において各校区の学習の拠点として校区公民館（コミュニティセンター）を位置付けていることから（東校区及び西校区は東西コミュニティセンター）、校区の実情を的確に把握し、校区に根ざした運営・活動を実施している各校区公民館運営委員会に業務を委託している。それぞれの委員会において、校区民のニーズや地域の特性などを考慮した「校区公民館講座」等を企画し、様々な分野における学習の機会を提供している。				
7	コスト 財源内訳	年度	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
		合計	2,040千円	2,255千円	2,355千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	2,040	2,255	2,355		

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>■校区公民館講座</p> <p>【成人講座】</p> <p>○東西コミセン： 8講座、受講者数 86人</p> <p>○東間コミセン： 9講座、受講者数 95人</p> <p>○大畑コミセン： 5講座、受講者数 36人</p> <p>○西瀬コミセン： 5講座、受講者数 59人</p> <p>○中原コミセン： 6講座、受講者数 63人</p> <p>R4合計： 33講座、受講者数 339人</p> <p>(前年比) + 4講座、受講者数 16人</p> <p>R3合計： 29講座、受講者数 323人</p> <p>東西コミセン及び西瀬コミセンは、令和2年7月豪雨で施設が被災したため、校区内の自治公民館等を利用し講座を実施。令和3年度は、最も被害が大きかった西瀬・中原校区において、規模を縮小しての開催であったが、「西瀬コミセン」：成人5講座、子ども講座は休止・「中原コミセン」：成人4講座、子ども講座は休止）令和4年度は、子ども講座を再開することができた。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>令和2年7月豪雨及び新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者数の増加が伸び悩んでいるところであるが、今後も引き続きしっかりとした感染対策等を行い、コロナ禍以前の受講者数に（R元：成人講座35講座、受講者数514人、子ども講座12講座、受講者数190人）戻せるよう周知啓発に努めていく。</p> <p>また、講座申込については、平日昼間の受付対応しか出来ていないため、今後、新たな申込方法や手続き方法等を検討し、受講者数の増加を図っていく。</p>				

事業の評価と今後の事業計画		
今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10	B	<p>災害復興が進むにつれて、徐々に受講者数も増えている状況であるが、甚大な被害を受けた「西瀬・中原」校区においては、未だ厳しい状況である。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人が集まる場所へ行くことに抵抗感がある高齢者もいて、イベント開催の難しさを痛感した一年であった。</p> <p>今後の展開としては、令和2年7月豪雨で被災した市内最大規模の東西コミセンが、令和4年度に災害復旧工事を完了するので、この復旧を皮切りに多くの受講者を呼び込みたい。同じく被災した西瀬コミセンについては、令和5年度中に移転新築工事を実施するため、前年同様、校区内の自治公民館等を活用し講座を実施する。</p> <p>また、前述のとおり講座の申込方法や手続き等に対し、受講者の利便性を向上させる余地があるため、新たな手法を検討し受講者の増加を図り、豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症の影響により希薄化している地域コミュニティの再生を図りたい。</p>

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豪雨災害によるコミセンの被災やコロナ禍という状況の中、工夫して事業を実施し、生涯学習の機会の提供や地域コミュニティの醸成に寄与した。</li> <li>○今後も更なる周知や申し込みの利便性の向上策を検討され、受講しやすい環境づくりを進められることを期待する。</li> <li>○小学校の部活動がなくなった今日、児童が文化系の取組に触れられる機会が少ないと感じている。</li> </ul> <p>校区公民館講座は、児童の将来の夢にもつながる貴重な経験となることから、希望する児童が気軽に参加できる講座の開設をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講座の紹介として、「広報ひとよし」等のほか、町内会への案内や参加者の声の紹介等、様々な周知方法を検討してほしい。</li> <li>○インターネットでの申し込みを可能にするなど、多くの市民（児童を含む）が参加申込をし易い環境を作ってほしい。</li> <li>○指導者、受講者共に、明るい表情で楽しそうな姿を拝見したことがあるが、コミュニティとしての理想の形なのではなかろうかと思った。</li> <li>○昔の「生きがい講座」のようなものだが、いつの時代にも人と人との繋がりを増やし、繋ぐことは大事である。</li> </ul>

教育委員会の評価	
12	<p>令和2年7月豪雨によるコミュニティセンター（以下コミセン）の被災や新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施が困難であった時期を乗り越え、受講者数が増加傾向にあるのは喜ばしい。特に被災して使用不可となったコミセンでは、地域コミュニティが途絶えぬよう講座開催方法や場所を工夫して実施した成果といえる。</p> <p>本事業は、地域コミュニティにおける人材育成とふれあい交流の場として重要な事業であり、被災や新型コロナで影響を受けた地域コミュニティの更なる再生を図るための一助を担う事業でもある。</p> <p>校区民のニーズや地域の特性を考慮した講座、親子で参加できる講座など、市民の受講意欲が増す魅力ある講座の企画をすることで受講者増を目指す必要がある。また、SNSを利用した市民に分かりやすい周知方法や電子申請等の利便性の高い申込方法の検討も必要である。</p> <p>以上のことから、検討課題及び改善の余地がある事業であるため「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和4年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	スポーツコーディネーター業務委託(人吉市小学校社会体育)					
2	担当課名	社会教育課		担当者	縦木 智成		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		12	スポーツの振興

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小学校4～6年生の参加児童及びその保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	小学校運動部活動の廃止（平成31年4月）に伴い、児童の運動習慣の二極化の防止及び児童の生涯スポーツの入口として運動機会を創出し、かつ児童の身体機能向上並びに健康増進を図るため。スポーツコーディネーターを配置し、人吉市小学校社会体育の実施計画及び運動メニューの作成等を行い円滑な事業運営を行う。				
6	事業の概要	<p>市内小学校6校の体育館等を使用し、学校単位の社会体育活動（以下「本活動」という。）を行い、参加児童に運動機会の提供をする。活動内容は、特定の競技種目に特化したものではなく、レクリエーションスポーツその他総合的な運動を実施。</p> <p>運動指導・運動プログラム作成をしてもらうため、スポーツコーディネーター業務をNPO法人人吉市体育協会へ委託。また、同協会から本活動の指導者を派遣してもらっている。</p> <p>本活動の運営方針の決定については、人吉市小学校社会体育運営委員会（委員17名構成：学校関係者6名、学校PTA関係者6名、校区公民館長連絡協議会1名、スポーツ推進委員協議会1名、教育長1名、教育部長1名、市スポーツコーディネーター1名）において、協議・検討を行っている。</p>				
7	コスト 財源内訳	年度	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
		合計	2,061千円	2,061千円	2,061千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	2,061	2,061	2,061		

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>市内6小学校それぞれ25回の活動を実施した。活動の総計150回、延べ参加人数2,614人（前年度：総計77回実施、延べ参加人数901人）。</p> <p>市内対象児童（4～6年）826人の内、127人（15.38%：目標20%）の児童の参加申込があった（脱会者2名を含めると申込数は129人）。</p> <p>大きな事故・怪我なく実施できた。指導者から見て参加児童の運動能力向上が確認できており、目的である「児童の身体能力の向上及び健康増進」に寄与できたものと考えている。</p> <p>また、本活動の愛称を「モリスポ」と決定し、児童に親しみやすいネーミングとなった。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>本活動については、受益者負担の原則からスポーツコーディネーター業務以外の必要経費については、会費収入で運営しているため、持続的な事業継続のために会員数確保が大きな課題である。</p> <p>必要経費（傷害保険料や指導者謝礼等）確保のために、目標加入率20%を掲げている。目標には届かなかったものの、加入児童は前年度比で41名増加、加入率も10.36%から15.38%と大きく増加した。</p> <p>また、人吉市PTA連絡協議会の全面協力を得て、本活動の体験会などを実施したことから、参加児童が大幅に増えたと分析しており、引き続きPTAや保護者の協力を得られるように事業を実施していく必要がある。</p> <p>受託者において、指導者研修及び確保を鋭意進めていただいているが、事業継続のためには、引き続きの指導者の育成・確保は必要である。</p>				

事業の評価と今後の事業計画			
10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
			A

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各小学校で月2回程度、総合的な運動を実施しており、小学校の運動部活動廃止後の子どもへの運動機会の創出に、重要な役割を果たしている。</li> <li>○親しみやすい愛称を決定し、また、体験会を実施したことなどにより参加児童が増加したことを評価する。</li> <li>○今後も本事業が継続していくように、会員確保と指導者の育成・確保への取り組みを期待する。</li> <li>○小学校の部活動の替わりとなる「モリスポ」の取り組みは大変重要である。部活動同様の運動量まではいかなくとも、中学校の部活動につながる運動を確保できるよう今後も続けてほしい。</li> <li>○加入率が毎年上昇していることは、関係者の方々の努力の証であると感じている。今後もこの事業が継続し、多くの児童が参加できるようお願いしたい。</li> <li>○小学校部活動廃止からの社会体育移行まで見守ってきたが、コロナと水害と苦難が続いた事業もようやく光が見え始めてきた。これからより良い事業になると思う。</li> <li>○一時は廃止の話が出たとも聞き及んでいたが、これからも継続して子供たちの体力作りの為に尽力いただきたい。</li> <li>○指導する人材の確保が課題ではあるが、実施回数を徐々に増やしていけるよう長期的な目で検討を進めていただきたい。</li> </ul>

教育委員会の評価	
12	<p>総合評価</p> <p>B</p> <p>小学校運動部活動廃止に伴い開始した本事業は、児童の運動習慣の二極化を防止し、児童の身体能力の向上及び健康増進を図る重要な事業である。また、体力テストの結果から、児童の運動能力及び体力向上は喫緊の課題であるため、課題解決には本事業の役割は大きいと考える。</p> <p>人吉市PTA連絡協議会との連携協力により、年度を追うごとに会員数が増加しているものの、受益者負担の原則より、会費収入で運営していることから、安定運営のためには更なる会員増を図る必要がある。</p> <p>そのためには、各種スポーツ団体との連携による多様な体験や魅力ある実施計画の策定、運動プログラムの公表など、多くの児童及び保護者に興味を持ってもらえるような施策の検討が必須である。</p> <p>以上のことから、検討課題及び改善の余地がある事業であるため「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和4年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	史跡大村横穴群保存修理事業（補助）					
2	担当課名	文化課文化政策係			担当者	嶋田 敏朗	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		11	歴史文化遺産の保存と活用

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市民及び来訪者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	史跡の本質的価値を保護し次世代に継承しつつ、その価値が地域の誇りとして醸成されるような整備活用を目指す。				
6	事業の概要	<p>平成6～16年度にかけて大村横穴群東群（人吉駅裏）の整備事業を実施し、施工箇所は安定していた。しかし平成22年4月に未整備であった西群（民家、JR鉄道事業部付近）での崖面崩落が起こり、今後の大規模崩落の危険性が高まったため、岩盤の安定化を図り、文化財の保存と安全な公開活用を目的とした整備を実施。</p> <p>平成25年度から継続して西群一帯の安定対策工事を実施し、そのうちⅠ工区（民家裏延長約100mの範囲）については、令和3年度までに概ね施工を完了。令和4年度は施工範囲に残る支障木の伐採及びⅠ工区保存修理事業のまとめとして、事業内容を周知するための看板設置や整備報告書を刊行した。令和5年度より2年間の休止期間を経て、令和7年度から約6ヶ年で西群Ⅱ工区（城本公園内延長75mの範囲）の整備事業を実施する予定。</p>				
7	コスト 財源内訳	年度	令和3年度（実績）	令和4年度（実績）	令和5年度（見込）	
		合計	18,951千円	8,501千円	0千円	
		① 国庫補助金	9,338	4,250		
		② 県補助金	728	0		
		③ 起債	7,800	0		
		④ その他	0	0		
⑤ 一般財源	1,085	4,251				

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>西群のうち民家・畑に面する範囲（Ⅰ工区）の施工を概ね完了した。施工内容は、アンカー及び落石防護網等により、崩れやすい崖面を安定化させる工事を実施した。施工の難しい凝灰岩の崖面に対する文化財的な対策工事であり、県下においても先駆的事例として評価されている。また史跡保護の目的もさることながら、安全性の面において住民からも安堵の声をいただいている。</p> <p>Ⅰ工区は平成25年度より施工を開始しているが、事業途中の平成28年度には熊本地震も発生した。しかし施工箇所については、熊本地震による新たな落石等は発生しておらず、事業実施の効果が一定程度得られていると判断できる。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>平成28年の熊本地震に伴う新庁舎建設の影響を受け、平成30年度は一時的に事業を休止したが、安全対策目的の観点から平成31年度より事業を再開した。</p> <p>加えて令和2年7月の豪雨災害を受け、市の財政状況がひっ迫しているため、本事業については令和5年度より2年間の休止期間を設けている。</p> <p>しかし、本事業は本来Ⅱ工区を主として実施する目的で国、県の承認や補助を受けて進めている（Ⅱ工区の施工完了をもって事業の完了とみなされる）。</p> <p>また、来訪者や住民からもⅡ工区の安全な公開活用を求める声が寄せられており、今後も効果的かつ、より経済性の高い工法を鋭意調査・検討しながら、Ⅱ工区事業の遂行に向けて努力していかなければならない。</p>				

事業の評価と今後の事業計画		
10	今後の事業の方向性	総合評価
		左の「総合評価区分」を選択した理由
		<p>大村横穴群は、古墳時代に造営された横穴墓で、当地の歴史を考察するうえで極めて重要な史跡である。本事業等を実施することにより、大村横穴群を次世代へ確実に継承し、地域の誇りや心の拠り所となるような整備の在り方を確立し、地域振興などへの活用を促進する。</p> <p>市の財政状況は厳しい局面を迎えているが、市の財産でもある史跡の保存と安全な公開活用のために必須の事業としてこれまでも実施してきた。</p> <p>令和2年7月豪雨災害では特に多くの文化財が被害を受け、歴史ある建物等、未指定文化財では失われたものも少なくない。残された文化財の保存と活用は、今後の人吉市の復興の希望や市民の心の拠り所として、ますますその存在意義が高まると想定される。</p> <p>大村横穴群Ⅱ工区は、未施工のため立入禁止としているが、公開活用の声もあり、今後も引き続きⅡ工区の事業着手と完遂に向けて努力したい。</p>

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○財政状況等をみながらも、長年にわたって事業を行い、Ⅰ工区の最終年度である令和4年度も着実に事業を実施され、史跡の保全と周辺地域の安全が確保されたことを評価する。</li> <li>○重要な史跡であるとともに、地元町内では、大村古墳まつりを継承しておられるなど、地域の拠り所となっており、Ⅱ工区事業も確実に実施していただきたい。</li> <li>○本史跡のさらなる周知についても関係部署と連携して取り組んでいただきたい。</li> <li>○歴史的に重要な史跡であり、多くの人に貴重な史跡を見学できる状態にすることが必要である。そのためには、一年でも早く工事を終えてほしいと考える。令和7年度からの工事復活は必ず実現してほしいし、その後の6～7年の工期をできるだけ縮めて少しでも早く見学ができる状態にしてほしい。</li> <li>○世界的にも注目され未だ謎も多いとされる古墳時代の貴重な史跡をこれからも大切に次の世代につなぐ為にも大きな意味のある事業であると考えている。</li> <li>○様々な方面に興味を示してもらい、理解を多く得る必要もあるかと思う。お祭りなどが行われている事も素晴らしい活用と思う。百年千年先まで保存される事を切に願う。</li> <li>○現地に史跡の説明文や写真等の掲示を提案する。来訪者の興味が更に深まると考える。</li> </ul>

教育委員会の評価	
12	<p>総合評価</p> <p>史跡大村横穴群は歴史的価値のある国史跡であり、史跡の本質的価値の保護、次世代への継承及び地域住民の安全性の確保という観点から、本事業は意義あるものである。</p> <p>来訪者や地域住民からも早期の公開活用を求める声が寄せられているものの、令和5年度から2年間の休止期間に入ることが決定している。令和7年度からの西群Ⅱ工区事業の完全実施に向けて、今後は国・県との連絡調整を図り、効果的かつ経済性の高い工法を検討しながら万全の態勢で事業完了を目指していく。</p> <p>次世代につないでいくためには、この事業の意義や史跡の価値を子どもにも大人にも分かりやすく周知していく必要がある。</p> <p>以上のことから、令和5年度から休止期間に入るが、継続した周知活動や再開に向けた検討が必要であることから「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和4年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉市童話発表大会					
2	担当課名	文化課図書館係			担当者	田中 芳博	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内の小学生及び保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	子どもたちに対し、童話に親しむと共に創作活動を活発にする機会を与え、読書意欲の向上と豊かな人間性の育成を図るため。				
6	事業の概要	<p>第2回人吉市童話発表大会（主催：人吉市教育委員会、共催：人吉市内小・中学校長会及び人吉市PTA連絡協議会）</p> <p>①市内各小学校を通じて人吉市図書館で公募し、低学年の部、中学年の部、高学年の部 からなる小学生の童話発表大会。</p> <p>②童話（日本、外国及び創作もの）、昔話等児童の読みものを、1年生～2年生は5分以内、3年生～6年生は7分以内で発表。出場者が多数の場合は、予選会を実施。本選18名による本大会をカルチャーパレス小ホールで開催する。</p> <p>③本大会において、最優秀賞、人吉市小中学校長会長賞、人吉市PTA連絡協議会長賞として各1名に対し、賞状と記念品を授与。そのほか出場者に対し優秀賞として賞状と記念品を授与する。</p>				
7	コスト 財源内訳	年度	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(見込)	
		合計	25千円	273千円	273千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	25	273	273		

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>令和3年度の第1回人吉市童話発表大会は、公募による本市独自の新たな取組であったが、新型コロナウイルス感染症の急拡大により、中止となり、ビデオ撮影会を実施した。令和4年度の第2回目となる本大会は、事業の概要のとおり開催ができた。出場者は東小学校1年生1名、西小学校1年生2名、4年生2名、東間小学校1年生2名、3年生1名、中原小学校2年生1名、大畑小学校4年生1名の合計10名。</p> <p>出場者10名は、大きなステージで緊張した中、覚えて話すことだけでなく、それぞれに創意工夫された豊かな表現で発表し、会場全体が感動で満たされた。</p> <p>たくさんの練習を積み重ねてきたことがよくわかる発表であり、読書への動機づけ、読書意欲の向上、ひいては心も豊かな人間性の育成に繋がった。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>出場申込者数が本大会選出者数に満たなかったことから、予選会を省略し申込者全員を本大会へ選出しており、予選会を実施できるよう出場者を増加させることが課題である。学校、PTA等の関係機関ともっと連携の強化を図る必要がある。</p>				

事業の評価と今後の事業計画		
今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10	B	令和4年度第2回大会が事実上の初開催であったため、出場者数に不安があったものの、大会自体は特に大きな問題はなく、コロナ禍において、発表の場を提供できたことは、読書活動の推進に寄与できたと考えるが、出場者の増加を図ることに課題が残るため、左記の総合評価とした。

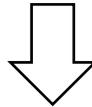
学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○従来の熊本県童話発表会が終了となったなか、児童の読書と発表の機会を確保するため、本大会を独自の取り組みとして実施されたことを評価する。</li> <li>○出場者の増加のため、学校との連携、広報等の創意工夫をお願いしたい。</li> <li>○童話発表大会は、児童の読書啓発の観点および情操豊かな人間性を図る観点においても重要な行事である。県や人吉球磨での大会が中止してしまったことは残念であるが、人吉市で継続してもらえることは大変ありがたい。</li> <li>○一人でも多くの児童が挑戦するよう、働きかけてほしい。また、全学年が挑戦するよう、募集の工夫をお願いしたい。</li> <li>○参加者の募集方法に課題があるため、もっと学校と連携して、することで成功への道は開けるのではないだろうか。</li> <li>○人吉市内の全校児童が参加するわけではないので、できれば、本選のDVDを各学校に配り、視聴できるようにしてもらいたい。</li> <li>○人吉市独自での開催となってしまっていることが残念でならない。それだけに大切にしたい行事である。</li> <li>○本を読まない子供が増えたと言われ続け、そのまま本を読まない大人になった親も少なくないと思う。読書の素晴らしさを広める活動としては、子供を通じ、読まない大人・読まなくなった大人への読書の普及にも繋がると思う。</li> <li>○子ども達や保護者への周知期間、練習期間を確保できるよう募集開始時期を検討いただきたい。</li> </ul>

教育委員会の評価	
12	<p style="text-align: center;">総合評価</p> <p>B</p> <p>熊本県童話発表大会が終了した後、市独自で本事業を開催できたことは評価できる。しかしながら、童話に親しむだけでなく、人前で発表するという意義ある貴重な場でもある本事業への参加者が少なく、本来の事業意義を活かしきれていないため、事業の運営には改善を要する。</p> <p>特に、一部の児童のみの事業とならぬよう参加者を増やすための施策には重きを置く必要があり、参加者募集の時期や周知方法の検討、学校及び人吉市PTA協議会等と密に連携を図る必要もあると考える。</p> <p>本事業は、ただ童話を覚えて発表するだけのものではなく、読書意欲の向上や親子のコミュニケーションの深まりなど、幅広い効果を期待できるものであるため、継続して実施していきたい。</p> <p>以上のことから、検討課題及び改善の余地がある事業であるため「B」を選択した。</p>

## 《 基本理念 》

本市は、「みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。ひとよし」をまちづくりの理念として掲げています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。



## 《 教育目標 》

### I 生きがいを持って活躍できる生涯学習とスポーツ環境の整備

市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツなどに親しむことを通して、生きがいを持って活躍できる生涯学習・スポーツ環境の整備を推進します。

### II 家庭・地域の教育力の向上と協働の推進

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、学校、家庭、地域社会が協働・連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。

### III 「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育を推進します。

### IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。